

(別紙様式3)

令和6年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 32

学校名 愛知県立春日井工科高等学校

校長氏名 服部 光博

研究責任者職・氏名	教諭・櫻井 穂高	
研究 テーマ	「主体的・対話的で深い学び」を目指す組織的な授業改善	
本年度の 研究目標	(１) 「主体的・対話的で深い学び」を推進する授業 (２) 「探究的な学び」を推進する授業 (３) 上記の「主体的・対話的・探究的」な学びを推進するための、 効果的なＩＣＴ機器の活用方法 (４) キャリア教育を踏まえた学習指導の充実	
研 究 の 実 施 内 容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒等)
令和６年５月１５日	令和６年度あいちラーニング推進事業説明会	教務主任
令和６年５月２１日	ロイロノート体験会	全職員
令和６年６月２１日	令和６年度第１回あいちラーニング推進事業尾東地 区連絡協議会	教頭
令和６年６月２７日	デジタル採点説明会	全職員
令和６年７月１１日	あいちラーニング推進委員会	教科主任
令和６年８月１９日	令和６年度あいちラーニング推進事業に係る講演会	教頭
令和６年８月	令和６年度高等学校教育課程連絡協議会	各教科
令和６年９月	授業参観月間	全職員
令和６年９月２日	あいちラーニング推進委員会・教科会	全職員
令和６年１０月１日	あいちラーニング推進委員会・教科会	全職員
令和６年１１月７日	あいちラーニング推進委員会・教科会	全職員
令和６年１１月１２日	令和６年度あいちラーニング推進事業における研究 授業・研究協議（旭野）	教頭
令和６年１１月２９日	令和６年度第２回あいちラーニング推進事業尾東地 区連絡協議会	教務主任
令和６年１２月９日	あいちラーニング推進委員会・教科会	全職員
令和７年１月４日	あいちラーニング推進委員会・教科会	全職員
令和７年２月２０日	あいちラーニング推進委員会・教科会	全職員

令和7年3月12日	令和6年度あいちラーニング推進事業における研究授業・研究協議（春日井工科）	教務主任・ 教科主任 教頭
令和7年3月12日	探究活動スタートアップ研修会	
研究成果の評価及び普及・還元に関する実績		
1 ロイロノート体験会 代表的な授業補助ツールとして「Microsoft Teams」と「ロイロノート」があるが、校内で推奨ツールを決めてはいない。状況に合わせて効率よく利用している。近年の授業に関する研究発表を鑑みるに、多くの研究事例で「ロイロノート」を利用している。今年度、本校で授業改善を推進する中で、研究事例を参考にすることが多々あると考えられるため、来年度も「ロイロノート」を利用する予定である。しかし、現在は無料で利用できているが、来年度以降は有料になることが告知されている。費用を学校徴収金として集める必要があり、徴収するからには効果的な利用が望まれる。本校では授業で「Microsoft Teams」を利用する職員の方が多いが、「Microsoft Teams」でできないことが「ロイロノート」ではできることもある。毎年、ロイロノートの説明会を実施しているが、今年度も利用担当者の増加のために実施した。		
2 デジタル採点説明会 愛知県として各学校に導入されているデジタル採点ソフト「百問繚乱」の説明会を行った。 昨年度より導入されているが、利用する職員は普通科目担当者が多く、工業科目担当者には浸透していなかった。工業科目の採点は1、2クラスに限られるため、時間効率の面であまりメリットがないことが理由として挙げられる。しかし、工業科目でも効率を上げるために利用する場面は作れることから、昨年度利用して判明した設定の手間や精度なども含めて、改めてデジタル採点を推進する説明会を行った。 工業科目でも、考査では問1を毎回記号問題にすることで、ほぼ変わらない設定で5回の定期考査の採点や、繰り返し行われる資格試験の練習問題の採点に利用できることが説明会の感想で挙げられた。定期考査1回分だけ切り取って導入を進めるのではなく、1年間の学習活動という視点での導入を今後も進めたい。		
3 教科会 令和6年度高等学校教育課程連絡協議会による動画視聴を初めとして、教科会の中で、「対話的・主体的で深い学び」について各教科において検討を進めた。 3観点の評価方法は各教科において改善し続けている。各教科の部会では、その教科特有の評価に関する問題点が挙げられており、今年度はそれらをもとに教科単位で検討を進めてきた。しかし、特に一人で担当している工業科目については担当者任せになっている部分が多く、実際の評価項目について学科内でも共有されていないことが分かった。次年度は、適切な評価、又は主観的にならない評価を進めるために、一人で担当する科目においても複数教員での評価方法の検討を推進したい。		
4 授業参観 今年度は、初任者研修や中堅教諭資質向上研修対象者の研究授業が中心となってしまうが、参観者自身の授業改善を目的に、研究授業の参観を校内で呼びかけた。		

以前は経験豊富な教員の授業を参観することで授業改善を図れたが、近年は ICT 活用や評価方法の改善に伴い、中堅・経験豊富な教員が参観することで学校全体の授業改善につながる要素が多分にある。今年度の参観者は研修関係者が多くを占め、その他の参観者は授業改善に関心のある一部の教員のみに留まった。次年度は、授業参観を必須とし、その参観で感じたことを共有して授業改善のために具体的な行動に移すところまでを計画したい。

5 公開授業・研究協議

「情報Ⅰ」の代替科目である「工業情報数理」の研究授業を 2 クラス行い、その後研究協議を行った。

動画サイト YouTube の動画を活用した授業においては、メリットとして教材準備時間の短縮、教科書記載事項以外の関連知識の学習、音声読み上げソフトにより聞きやすい説明、授業内でメリハリがつけられるなど多くのメリットが研究協議で挙げられた。一方、動画サイトやウェブサイトには新旧の情報が混在しており、授業で使用する動画が最新の情報かどうか確認する必要があることや、YouTube 動画を授業で使用するよいかの著作権問題が挙げられた。今回授業で使用した動画は、アップロード者のプロフィールには高校教員とあるが、動画の中での説明文の引用情報や音声読み上げソフトの利用許諾情報、授業で活用する場合についての説明は記載されていない。授業におけるウェブサイトの引用などにおいても、連絡して許諾が得られる場合もあれば、著作権についてはページに記載されているものを読んで判断しなければならない場合もあり、利用する際は利用範囲を慎重に検討する必要があることが意見として出た。

情報モラルの単元において、闇バイトサイトの注意喚起の授業では、騙す側の視点でロールプレイをして闇バイトの紹介文を生徒に考えさせており、生徒が主体的にグループ内で相談しながら、時にはユーモアも交えて取り組んでいた。そこから注意すべき点の気づきを引き出していた。騙される側の視点でないところが、生徒の興味・関心を引き出していると複数教員からの感想があった。個人で教材研究しては思いつきにくい視点であり、こちらの授業も授業参観・研究協議の大切さがわかる内容であった。

6 全体

研究発表や部会、ウェブサイトで授業方法や評価方法の事例が公開されており、参考となる情報は多い。しかし、関心がなければ、それらの情報に触れる機会もなく日々の学校業務は進んでいく。今年度、教科を中心とした検討の中で問題点が挙げられた。校内でも、教員個々に評価や授業改善を進めている教員もいる。まず必要なことは、評価方法の情報や教材データの共有にある。他校でのあいちラーニングの取組を知り、情報交換を行うことができた。来年度はあいちラーニングの重点校としての機会を最大限使用し、学校全体としての取組を進めて生徒が今以上に成長できる学校体制にしたい。